

薬生薬審発 1216 第 4 号
令和 4 年 12 月 16 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長
（ 公 印 省 略 ）

医薬品の一般的名称について

標記については、「医薬品の一般的名称の取扱いについて（平成 18 年 3 月 31 日薬食発第 0331001 号厚生労働省医薬食品局長通知）」等により取り扱っているところです。今般、我が国における医薬品の一般的名称（以下「JAN」という。）について、新たに別添のとおり定めたので、御了知の上、貴管下関係業者に周知方よろしく御配慮願います。

（参照）

「日本医薬品一般的名称データベース」<https://jpdb.nihs.go.jp/jan/Default.aspx>
（別添の情報のうち、JAN 以外の最新の情報は、当該データベースの情報で対応することとしています。）

(別表2) INNに記載された品目の我が国における医薬品一般的名称

(平成18年3月31日薬食審査発第0331001号厚生労働省医薬食品局審査管理課長通知に示す別表2)

登録番号 304-1-B7

JAN (日本名) : ルスパテルセプト (遺伝子組換え)

JAN (英名) : Luspatercept (Genetical Recombination)

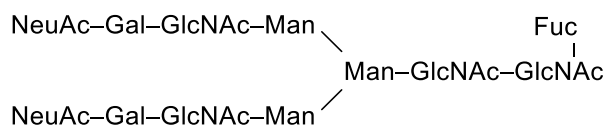
アミノ酸配列及びジスルフィド結合



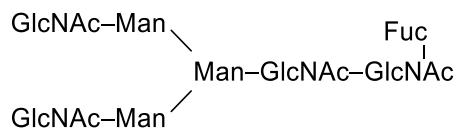
K335 : 部分的プロセッシング ; N18, N41, N185 : 糖鎖結合 ; T101, T107, T111, T113 : 推定糖鎖結合
C114-C114, C117-C117 : サブユニット間ジスルフィド結合

主な糖鎖の推定構造

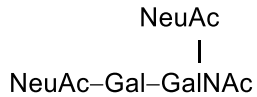
N18, N41



N185



T101, T107, T111, T113



C₃₃₅₀H₅₀₇₀N₉₀₆O₁₀₄₄S₃₈ (タンパク質部分, 2 量体)

単量体 C₁₆₇₅H₂₅₃₇N₄₅₃O₅₂₂S₁₉

ルスパテルセプトは、遺伝子組換え融合糖タンパク質であり、1～107 番目、108～110 番目及び 111～335 番目は、それぞれ改変型ヒトアクチビン受容体 IIB 型の 7～113 番目のアミノ酸残基 (L55D; 細胞外ドメイン)、リンカー、及びヒト IgG1 の Fc ドメインに相当する。ルスパテルセプトは、CHO 細胞により産生される。ルスパテルセプトは、335 個のアミノ酸残基からなるサブユニット 2 個から構成される糖タンパク質 (分子量: 約 94,000) である。

Luspatercept is a recombinant fusion glycoprotein, whose amino acid residues at positions 1-107, 108-110 and 111-335 correspond to amino acid residues at positions 7-113 of modified human activin receptor type IIB (L55D; extracellular domain), a linker, and an Fc domain of human IgG1, respectively. Luspatercept is produced in CHO cells. Luspatercept is a glycoprotein (molecular weight: ca. 94,000) composed of 2 subunits consisting of 335 amino acid residues each.

※ JAN 以外の情報は、参考として掲載しました。